

信長、秀吉の歩いたいにしへの路を歩

古建築愛好家必見の古いまちなみ!

天王川の堤防上につくられた古いまちなみ、本町筋。

この道は室町時代頃から変っていない古の道である。さ、と信長や秀吉や清正も通ったであろう道を歩いて中世へタイムスリップしませんか?!

対象
歴史愛好家なら
どんな人でもOK!



観光交流センター周辺。古い町並みがこのころ。甘酒の井戸(上切)



本町筋にある上切、坂口、堤下の井戸。今も水が出続けている(飲めない)。打ち水などにも利用。昔はどの町にもあった井戸の一つ。



郷土出身の詩人、野口米次郎の生家。



もともと本町にあった岡本家の別荘だった。中の調度品が見事とか、岡本家は旧尾西鉄道で知られる。



本町筋の町家。造り手、菅原家。三菱社の屋敷神様。



「蔵の道へと至る。堤下神社は江戸時代には金燈籠社と呼ばれた。天王川が流れていた頃、ここは川を挟んで津島牛頭天王社をお参りする道標所だった。敷地内にある「堤下神社の井戸」は津島市祖先の遺産。

自然堰を歩く本町筋

本町筋はもともと天王川の自然堤防だった。

信長、秀吉戦国武将も歩いた室町時代から残る道。

11 井戸(坂口町) 本町筋にある上切、坂口、堤下の井戸。



津島神社への道を示す道標。平形で方向が示されている。(B)

平の形がよもしろい!



清正公社への道を示す道標。平形で方向が示されている。(A) 蔵の道のつぎはここ!

古い商家本町一丁目付近



産産された古い町並み。

8 商家



本町筋の町家。遠山家、富永家、伊藤和光門。遠尾豊災以降。

12 屋敷神様



遠尾家の屋敷神様。



戦国時代織田信秀が遠敷師長を接待した正堂院は現在の不動院とのこと。文化財の多さ。織田家の接待所。

3 市神社



本町筋を語るなら外せない。手水鉢には津島出身の黒澤矢野建蔵氏の銘の入ったものがある。

10 茶の間(成徳具屋)



街道の重要施設として、上方や江戸からの使者の宿泊所・休憩所でもあった。

13 長珍酒造



本町筋にある町の酒蔵。

この道とつながる
屋敷神様で